

■岩田智子一般質問

1—女性の社会参画加速化戦略について

知事に固定的性別役割分担意識を、環境生活部長に意識啓発を、教育長にキャリア教育について聞いた後、ひと・まち・しごと創生総合戦略について知事に尋ねました。女性議員3人の熊本県議会を見れば一目瞭然。まだまだ女性参画は進んでいません。地域創生戦略の根底には女性が暮らしやすく働きやすい仕組みとその仕組みを支える意識改革が必要だと思い、組み立てて質問をしましたが、当たり障りのない答弁でした。ただ一つ女性の活躍推進が経済発展の観点からだけ見るのではなく、女性の人権尊重と男女平等の意識が最も大切だと知事が答えてくれたことは成果だと思います。



9月18日 県会議員として初めての一般質問。

2—公務員給与の総合的見直しについて

熊日新聞にも次の日掲載されましたが、知事は人事委員会勧告に基づき、地方が自主的に決定すべきと答弁しました。

3—教員の人材確保と負担の適正化について

教員になりたい！なってよかった！といえるような職場にしてほしいという願いで質問しました。負担軽減については労働安全衛生法の徹底を訴えました。免許外教員についても聞きました。臨時的任用教職員の処遇改善も訴えました。

ここも、これといった答弁はありませんでした。特に、臨時的任用教職員と正規の教職員の「職責」についての「任用期間に制限があるため、長期的な学校経営の視点から継続的な役割を担う本採用教職員とは職責が異なる」という教育長答弁については納得がいきませんでした。このことについてはこれからも課題だということも伝えました。

4—外国ルーツの子どもたちへの支援

NPOに任せっきりの外国ルーツの子どもたちへの日本語指導。県できちんと取り組んでほしいという2月の平野みどりさんの質問に引き続きの質問をしました。10月に連絡協議会を開催し、今年度中には国の手引きを参考に資料を作成すること。進み始めました。

5—盲学校・聾学校と新たな特別支援学校の施設整備計画について

31年度に完成予定の仮称東部特別支援学校の建設と共に、敷地の聾学校、盲学校の施設の見直しと、子どもたちが安全に生き生きと学校生活が送れるようにしてほしいという願いを込めて質問をしました。特に体育館や運動場の共用などに関しては安全面等で心配だと訴えました。答弁では当事者関係者との連絡会議で検討し、エリア全体の教育環境の整備を進めるとのことでした。

■厚生委員会報告

厚生常任委員会では、マイナンバーの端末設置にかかる費用と台風被害による補正予算が可決されました。また、さわやか長寿財団、熊本県総合保健センター、熊本県移植医療推進財団、熊本県生活衛生営業指導センターの経営状況の報告がありました。また、障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例の改正に向けて10月の1ヶ月間パブリックコメントを募り、28年4月に改正条例施行となるという報告を受けました。マイナンバー制度が着々と進んでいますが、漏洩への心配はまだまだ払拭されていません。ここはこれからもきちんと見ていかなければと思いました。

■高速交通ネットワーク特別委員会報告

特別委員会では、台湾高雄等との経済交流についての取り組みの報告や高規格道路整備の状況、道路渋滞などを調査したパーソントリップ調査の分析と課題について協議しました。

■意見書 請願について

- 私学助成に関する意見書の提出を求める請願 採択 〈岩田：賛成〉
- 消費税の増税を中止し、生活費非課税・応能負担の税制を求める意見書提出を求める請願 不採択 〈岩田：反対〉
- 川内原発2号機の再稼働前に、九州電力に対して住民説明会開催を申し入れることを求める請願 不採択 〈岩田：賛成〉
- 台風15号により被災した果樹生産農家の復旧に関する請願 採択 〈岩田：賛成〉
- 地域経済の再生に向けた経済対策を求める意見書 採択 〈岩田：賛成〉
- 地方創生に係る新型交付金の財源確保を求める意見書 採択 〈岩田：賛成〉
- ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書 採択 〈岩田：賛成〉
- マイナンバー制度の来年1月からの実施中止を求める意見書 不採択 〈岩田：反対〉
- （マイナンバーについてはこれからの運用を注視していきます）
- TPP協定交渉の大筋合意に対する意見書 採択 〈岩田：賛成〉

今回の請願や意見書に対して、もっともっと皆さんの意見を聞いて自分で判断せねばならなかったと反省をしています。自分の役目を再確認できた今期議会でした。



■視察報告

厚生委員会（8月19日）

管内視察は日赤のドクターヘリ・波野村診療所・阿蘇医療センターに行きました。救急医療で助かる方々の話、無過疎地域での医療の課題、新しい地域医療の動きについて勉強してきました。波野診療所の先生は自分の病院を閉めて来られた貴重な方、バトンを受け継ぐお医者さんが見つかることを願います。阿蘇中学校跡に作られた阿蘇医療センターはスマートフォンの利用などで熊大病院と連携し、電子カルテの利用が進んだ最先端の施設でした。院長はじめスタッフの皆さんの熱い思いに触れることができました。



会派視察（10月7日）

南関町にできる産業廃棄物最終処分場エコアと地域創生ということでまちづくりに取り組んでおられる南関町役場、そして和水町の花の香酒造見学に行きました。エコアは決定から10年、これまで地元の方々への説明会を何度も重ねて、今年の10月末に完成予定です。屋根と壁のある処分場は人工的に散水し、廃棄物に触れて汚れた水は埋め立て地域の散水に循環利用するそうです。環境教育の拠点としての役割もあります。また、南関町は竹の再利用でバンブーフロンティア構想から地域エネルギーを作ったり、合板を作ったりして民間活力を生かす取り組みをしています。役場総務課長は女性でした（県で唯一らしい）。現場で話を聞くことの大切さを実感しました。